

ごみを処理する施設から、エネルギーを創り出す施設へ…

熱回収施設

ごみの流れ

ごみは計量後、プラットフォームからごみピットに投入されます。ごみピット内のごみは、ごみクレーンで攪拌し均質化した後ごみホッパへ投入し、給じん装置により焼却炉内に供給されます。炉内のごみは、ストーカ上を移動しながら燃やされ、灰になります。炉内は850℃以上の高温状態になっているため、ごみは完全燃焼します。

ガスの流れ

焼却で発生した排ガスを廃熱ボイラーと減温塔で冷却した後、アルカリ剤を吹き込みます。その後、集じん器でダイオキシン類・塩化水素・ばいじんを捕集し、脱硝反応塔で窒素酸化物を除去して、クリーンな状態となり、煙突より排出されます。

空気の流れ

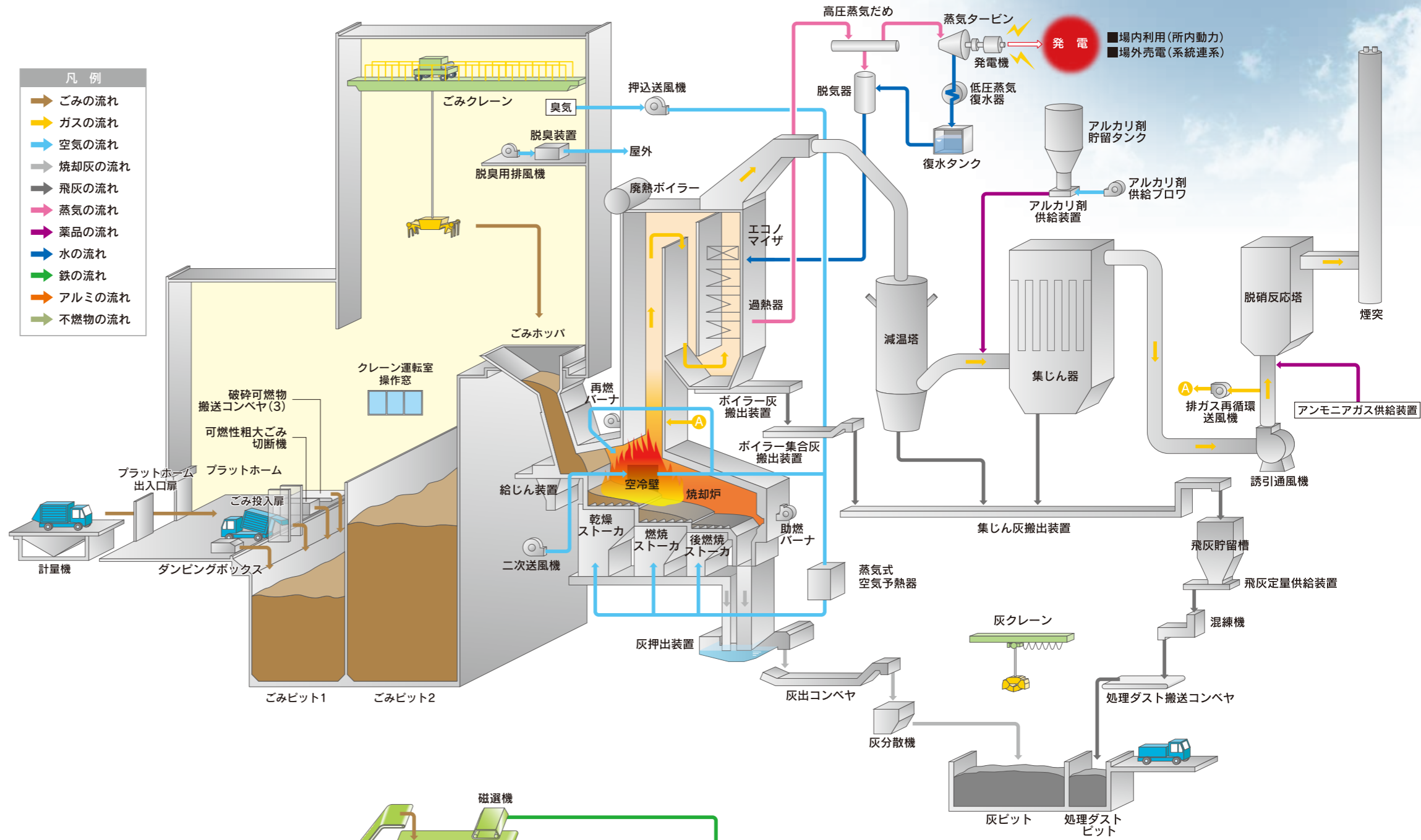
ごみピット内の臭気を含んだ空気は、焼却用空気として押込送風機により焼却炉内に送られ、完全燃焼されることで臭気は分解されます。

焼却灰・飛灰の流れ

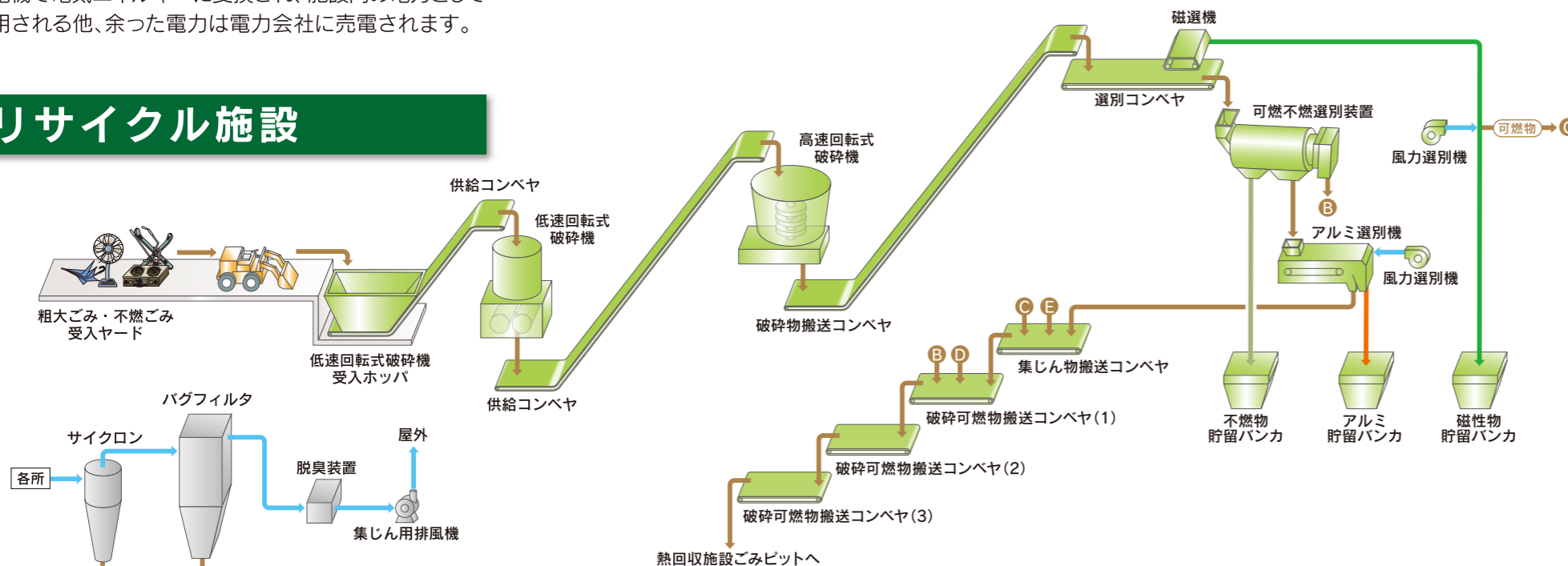
焼却後の灰は水で冷却された後、灰ピットに貯留後、場外へ搬出されます。また、廃熱ボイラー、減温塔、集じん器で捕集された飛灰は薬剤処理された後、処理ダストピットに貯留後、場外へ搬出されます。

蒸気の流れ

焼却炉上部に設置した廃熱ボイラーで排ガスから熱回収して蒸気が作られます。蒸気は、蒸気タービンおよび発電機で電気エネルギーに変換され、施設内の電力として利用される他、余った電力は電力会社に売電されます。



リサイクル施設



粗大ごみ・不燃ごみの流れ

粗大ごみ・不燃ごみは低速・高速回転式破砕機により細かく破砕します。破砕物は磁力選別機によって鉄を回収し、さらにアルミ選別機でアルミを回収します。回収された鉄とアルミは資源としてリサイクルされます。選別後の可燃物は熱回収施設のごみピットへ搬出され、焼却処分します。選別後の不燃物は不燃物貯留バンカに貯留後、場外へ搬出され、埋め立て処分されます。